

2023年度

大学院薬学研究科

博士前期課程

博士後期課程

博士課程

学生募集要項

(一般入学試験 第一次・第二次)

(秋季一般入学試験)

城西大学

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1
電話 049-271-7711 (入試課)

入学試験における新型コロナウイルス感染症等への対応について

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、2020年2月1日に同感染症を指定感染症に指定する政令が施行されましたが、本学では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を万全にとり、2023年度入学試験を実施いたします。

本学の入学試験では試験当日、新型コロナウイルス感染症や学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患し、治癒していない方は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮いただいております。受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置および入学検定料の返還は行いませんのでご了承ください。

入学試験当日は、安全な受験環境を保持するため、試験室前等に消毒液を設置しますので、手指消毒にご協力ください。試験時間中を含め、マスクの着用を励行していますが、写真照合の際にマスクを一旦外していただく場合があります。監督者がマスクを着用して対応することがあります。試験場にて具合が悪くなった受験生は、試験監督者や受験生係に申し出て、指示に従ってください。

受験生の皆様におかれましては、せっけんを使った手洗い、うがいの励行やマスクの着用、インフルエンザなどの他の感染症にも十分注意して受験に臨んでください。

今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、募集要項に記載されている選抜方法とは異なる方法で選抜する場合があります。変更の際には、本学ホームページ等でお知らせいたしますので、最新情報には十分ご注意ください。

薬学研究科 3つのポリシー

薬学研究科

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

薬学研究科は、個々人が主観的 QOL(quality of life:生活と人生の質)を高く維持し健康のよりよい状態を目指すことを支援するために必要とされる高度な能力および豊かな人間性と社会性を兼ね備え、国際化への対応が求められる社会の維持・発展を積極的にリードする人材の育成を目指します。そうした人材に求められる各専攻で掲げる専門的能力を修得し、各専攻の学位授与の方針を満たした人に、修士もしくは博士の学位を授与します。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

薬学研究科では、各専攻の教育研究上の目的を達成するために、それぞれ分野・領域を設定し、特論科目、演習科目、修士論文研究もしくは博士論文研究のカリキュラムを編成しています。薬学専攻(博士課程)は、薬学分野の高度な学術的基盤を身につけ、主に医療薬学領域において極めて高度の専門性と豊かな学識を有する人材を育成するために必要なカリキュラムを編成しています。薬科学専攻(博士後期課程)は、薬学・栄養学・化粧品学分野の高度な学術的基盤を身につけ、それらの学際的特徴を有する薬科学分野において極めて高度の専門性と豊かな学識を有する人材を育成するために必要なカリキュラムを編成しています。薬科学専攻(博士前期課程)は、薬学・栄養学・化粧品学分野に関連した、専門性の高い能力および広い視野と高い興味を有する人材を育成するために必要なカリキュラムを編成しています。医療栄養学専攻(博士前期課程)は、栄養学・栄養管理分野に関連した、専門性の高い能力および広い視野と高い興味を有する人材を育成するために必要なカリキュラムを編成しています。学習の成果は、定期的な形成的評価、最終段階での総括的評価で評価します。

アドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)

薬学研究科では、広い知識と深い専門性の学びを提供し、個々人が主観的 QOL を高く維持し健康のよりよい状態を目指すことを支援するために必要とされる高度な能力を有する人材の育成を目指します。城西大学の建学の精神と教育目標を理解するとともに、薬学研究科の教育方針に共感し、教育課程に積極的に取り組む姿勢をもち、各専攻における入学者受入の方針に掲げた学力や意欲を有する人を受け入れます。

薬学研究科薬科学専攻(博士前期課程)

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

薬学研究科薬科学専攻(博士前期課程)は、次に掲げる資質・能力を醸成し、さらに本専攻のカリキュラムにおいて所定の単位を修得し、提出した修士論文が専攻内規に則って審査され合格と判定された人に対して修士(薬科学)の学位を授与します。

- 広い教養と深い専門的な知識と技能を備え、国際化への対応が求められる社会でリーダーとして活躍できる能力
- 薬科学の素養を身につけた高度専門職業人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、積極性、表現力や道徳的能力
- 社会の多様性に配慮して、主体的かつ協働的に実社会においてリーダーとして貢献できる能力
- 医薬品、化粧品(化粧品)成分、食品成分、生活化学用品による生体作用を、最新の生命科学の進展の成果に基づいて議論することができる能力
- 安全性を考慮した医薬品の開発・研究・情報提供、安全性を考慮した化粧品(化粧品)の開発・研究・情報提供、安全性を考慮した機能性食品の開発・研究・情報提供、安全性を考慮した生活化学用品の開発・研究・情報提供、健康と医薬品を政策面・管理面から広く評価・実践、のいずれかができる能力
- 薬科学の基礎科学的探究のみならず、先進の探求的研究を統合的に理解して、人々の健康増進にどのような帰結をもたらすかを評価し議論できる能力

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

薬学研究科薬科学専攻(博士前期課程)では、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力の醸成のために以下のカリキュラムを設定しています。学習の成果は、定期的な形成的評価、最終段階での総括的評価で評価します。

- 先端薬科学特論、総合薬科学演習を含む各分野の特論・演習を選択・必修科目として、高度で専門的な知識の修得および学識の涵養を図り、グローバルな視野をもち、社会の維持・発展に寄与する専門職業人を養成します。
- 特論演習では、それぞれが専門とする分野において求められるスペシャリストとしての高度な知識と技能の修得を目指します。
- 修士論文研究では、主研究指導教員との綿密な協議に基づいて研究方針を策定し、副研究指導教員も加えて形成的な評価を目的とした定期的なディスカッションをとおして課題研究を遂行し、最終的に修士論文として完成させることにより高度な研究能力を養成します。
- 論文作成法特論では、研究・生命倫理に係る事柄やその他各種レギュレーションに関する事柄を理解し、適切な論文作成に向けた知識・技能・態度を身につけます。

アドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)

薬学研究科薬科学専攻(博士前期課程)では、城西大学の建学の精神と薬学研究科ならびに本専攻の教育研究上の目的を理解するとともに、本専攻のディプロマ・ポリシーに示す資質・能力の修得を目指す以下のような人の入学を期待します。

- 自然科学における基本的な知識を発展させ、グローバルレベルで研究推進能力を人々のために活用しようとする強い意欲のある人
- 薬学的視点に立って、安全性を考慮した医薬品、化粧品(化粧品)、機能性食品、生活化学用品の開発、製造、研究、情報解析に関して専門性の高い問題解決能力を身につけたいと思う意欲のある人
- 薬学分野のみならず、薬学分野と化粧品分野もしくは食品・栄養分野の中間に位置する Pharma-cosmetics や Pharma- Nutrition 分野(薬科学分野)にも立脚した薬科学の学問領域を発展させたいと思う意欲のある人

- 薬科学専攻(博士前期課程)において研究を行うために必要な基礎学力とプレゼンテーション能力を有する人
- 医薬品や健康に関連した政策や経営学に興味をもてる人
- 大学または社会で学んだ教養をさらに深化させ、専門知識のさらなる向上のため、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもつ人
- 論理的・科学的な思考に基づいて物事の課題や問題点を考えるとともに、倫理的な態度をもってそれらの解決に意欲的に努力する人

入学者の受け入れは、以下の点に留意して実施します。

- 本専攻の教育研究上の目的に相応しい人材を面接試験により評価・審査します。
- 卒業研究などのこれまでの研究経験に関するプレゼンテーションにより、基本的な研究能力とプレゼンテーション能力を評価・審査します。
- 薬学の研究をする上で必要な英語、有機化学、物理化学、生化学、生理学、栄養学、薬理学の理解度を評価・審査します。

薬学研究科医療栄養学専攻(博士前期課程)

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

薬学研究科医療栄養学専攻(博士前期課程)は、次に掲げる資質・能力を醸成し、さらに医療栄養学専攻(博士前期課程)のカリキュラムにおいて所定の単位を修得し、提出した修士論文が専攻内規に則って審査され合格と判定された人に対して修士(医療栄養学)の学位を授与します。

- 広い教養と深い専門的な知識と技能を備え、国際化への対応が求められる社会でリーダーとして活躍できる能力
- 栄養学・栄養管理、薬学、医学の素養を身につけた高度専門職業人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、積極性、表現力や道徳的能力
- 社会の多様性に配慮して、主体的かつ協働的に実社会において貢献する態度
- 生命科学の進展の成果を基礎として、食、薬、毒の生体作用を、物質によって引き起こされるものとして同列に議論することができる能力
- 食品と薬の相互作用を念頭に置き食毒性を考慮した高度な栄養管理と栄養教育の実践、食品を生理学的、薬力学的、毒性学的に評価し、これらがヒト恒常性に与える影響を分子のレベルで理解、健康と栄養を政策面・管理面から広く評価・実践、のいずれかができる能力
- 医療栄養学の基礎科学的探究のみならず、先進の探求的研究を統合的に理解して、種々要因のグローバルな変化が地域社会で暮らす一人ひとりの健康増進にどのような帰結をもたらすかを評価し議論できる能力

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

薬学研究科医療栄養学専攻(博士前期課程)では、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力の醸成のために以下のカリキュラムを設定しています。

- 先端医療栄養学特論、総合医療栄養学演習、病院・保険薬局実習を含む各分野の特論を選択・必修科目と

して、高度で専門的な知識の修得および学識の涵養を図り、グローバルな視野をもち、地域社会の維持・発展に寄与する栄養管理における専門職業人を養成します。

- 特論演習では、それぞれが専門とする分野において求められるスペシャリストとしての高度な知識と技能の修得を目指します。
- 修士論文研究では、主研究指導教員との綿密な協議に基づいて研究方針を策定し、副研究指導教員も加えて形成的な評価を目的とした定期的なディスカッションをとおして課題研究を遂行し、最終的に修士論文として完成させ、研究科委員会における総括的評価により、極めて高度な研究能力を有することを確認します。
- 論文作成法特論では、研究・生命倫理に係る事柄やその他各種レギュレーションに関する事柄を理解し、適切な論文作成に向けた知識・技能・態度を身につけます。
- 学生個人の教育評価は、修了要件単位数の充足、修士論文等の評価、社会と関わる諸活動の成果等の実態把握に基づいて総合的に行い、学修支援に生かします。

アドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)

薬学研究科医療栄養学専攻(博士前期課程)では、城西大学の建学の精神と薬学研究科の教育研究上の目的を理解するとともに、本専攻のディプロマ・ポリシーに示す資質・能力の修得を目指す以下のような人の入学を期待します。

- 大学または社会で学んだ教養を深化させ、医療栄養学の専門知識をさらに向上させ、個々人の主観的 QOL (quality of life:生活と人生の質)を高く維持することに活用しようとする強い意欲のある人
- 論理的・科学的な思考に基づいて物事の課題や問題点を考えること、先進の探求的研究に基づく知見を常に広く収集すること、医療倫理について深く考察すること、などに意欲的に取り組むことができる人
- 医療栄養学専攻(博士前期課程)において研究を行うために必要な基礎学力とプレゼンテーション能力を有する人

入学前に学習しておくことが望ましい教科・科目:卒業研究、英語、生化学、生理学、栄養学、薬理学、公衆衛生学、医療栄養学

入学者の受け入れは、以下の点に留意して実施します。

- 医療栄養学専攻(博士前期課程)の教育研究上の目的に相応しい人材を面接試験により評価・審査します。
- 卒業研究などのこれまでの研究経験に関するプレゼンテーションにより、基本的な研究能力とプレゼンテーション能力を評価・審査します。
- 医療栄養学の研究をする上で必要な英語、生化学、生理学、栄養学、薬理学、公衆衛生学、医療栄養学の理解度を評価・審査します。

薬学研究科薬科学専攻(博士後期課程)

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

薬学研究科薬科学専攻(博士後期課程)は、次に掲げる資質・能力を醸成し、さらに本専攻のカリキュラムにおいて所定の単位を修得し、提出した博士論文が専攻内規に則って審査され合格と判断された人に対して博士(薬科学)の学位を授与します。

- 広い教養と深い専門的な知識と技能を備え、国際化への対応が求められる社会においてリーダーとして活躍できる能力
 - 極めて高度の専門性と豊かな学識を有した研究者、専門職業人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、積極性、表現力や道徳的能力
 - 社会の多様性に配慮して、主体的かつ協働的に実社会においてリーダーとして貢献できる能力
- 上記に加えて以下のいずれかの能力を有することとします。
- 最近の生命科学の進展の成果を基礎として、医薬品、化粧品(化粧品)、食品成分、環境化学物質、毒物等の化学物質の生体作用を、遺伝情報の発現・制御(ゲノミクス)、タンパク質の機能発現・制御(プロテオミクス)、代謝物の変動の制御(メタボロミクス)、および化学物質の物理化学的性質の情報に基づいて議論することができる能力
 - 安全性を考慮した医薬品・化粧品(化粧品)の開発・研究・情報提供、安全性を考慮した機能食品の開発・研究・製造・情報提供、食品、食品の組み合わせ、食品と医薬品の組み合わせを生理学的、薬動学的、毒性学的に評価する研究・情報提供、のいずれかができる能力
 - 薬科学の基礎科学的探究のみならず、先進の探求的研究を統合的に理解して、種々要因のグローバルな変化が人々の健康増進にどのような帰結をもたらすかを評価し議論できる能力
 - 高度な医療や栄養管理を科学的根拠に基づいて発展させせることのできる能力

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

薬学研究科薬科学専攻(博士後期課程)では、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力の醸成のために以下のカリキュラムを設定しています。学習の成果は、定期的な形成的評価、最終段階での総括的評価で評価します。

- 高度先端薬科学特論、レギュラトリーサイエンス特論、ドライリサーチ特論を必修科目とし、高度な専門的な知識の修得および学識の涵養を図り、グローバルな視野をもち、社会の維持・発展に寄与する高度専門職業人を養成します。
- 特論演習では、各分野でそれぞれが専門とする教育・研究を対象とした極めて高度な知識と技能を修得し、グローバルなレベルで活躍できるスペシャリストを目指します。
- 博士論文研究では、主研究指導教員との綿密な協議に基づいて研究方針を策定し、副研究指導教員も加えて形成的な評価に耐えうる定期的なディスカッションをとおして課題研究を遂行し、最終的に博士論文として完成させることにより極めて高度な研究能力を養成します。
- 論文作成法特論では、研究・生命倫理に係る事柄やその他各種レギュレーションに関する事柄を理解し、適切な論文作成に向けた知識・技能・態度を身につけます。

アドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)

薬学研究科薬科学専攻(博士後期課程)では、城西大学の建学の精神と薬学研究科ならびに本専攻の教育研究上の目的を理解するとともに、本専攻のディプロマ・ポリシーに示す資質・能力の修得を目指す以下のような人の入学を期待します。

- 自然科学における確かな知識とグローバルレベルで高度な研究推進能力を人々のために活用しようとする強い意欲のある人

- 薬学・薬科学の学問的深化を追及する中で、医薬品、機能的食品、化粧品(化粧品)、生活化学と人々の健康との関係に興味と問題意識をもち、それにより得られた統合的かつ専門性の高い問題解決能力を医療と人々の健康増進、主観的 QOL (quality of life:生活と人生の質)の向上に活かす意志のある人
- 薬学分野のみならず、薬学分野と化粧品分野もしくは食品・栄養分野の中間に位置する Pharma-cosmetics や Pharma-Nutrition 分野 Pharma-Nutrition 分野(薬科学分野)をグローバルな視点で発展させたいと思う意欲のある人
- 高度な医療や栄養管理を科学的根拠に基づいて発展させたいと思う意欲のある人
- 薬科学専攻(博士後期課程)において研究を行うために必要な基礎学力とプレゼンテーション能力を有する人
- 大学または社会で学んだ教養をさらに深化させ、専門知識のさらなる向上のため、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもつ人
- 論理的・科学的な思考に基づいて物事の課題や問題点を考えるとともに、倫理的な態度をもってそれらの解決に意欲的に努力する人

入学者の受け入れは、以下の点に留意して実施します。

- 本専攻の教育研究上の目的に相応しい人材を面接試験により評価・審査します。
- 修士論文研究などのこれまでの研究経験に関するプレゼンテーションにより、基本的な研究能力とプレゼンテーション能力を評価・審査します。
- 薬学の研究をする上で必要な英語、有機化学、物理化学、生化学、生理学、栄養学、薬理学の理解度を評価・審査します。

薬学研究科薬学専攻(博士課程)

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

薬学研究科薬学専攻(博士課程)は、次に掲げる資質・能力を醸成し、さらに薬学専攻(博士課程)のカリキュラムにおいて所定の単位を修得し、提出した博士論文が専攻内規に則って審査され合格と判断された人に対して、博士(薬学)の学位を授与します。

- 広い教養と深い専門的な知識と技能を備え、国際化への対応が求められる地域社会においてリーダーとして活躍できる能力
- 専門性の極めて高い能力と豊かな学識を有する高度医療職業人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、積極性、表現力や医療倫理にかかわる能力
- 社会の多様性に配慮して、主体的かつ協働的に実社会において貢献する態度
- 最近の生命科学の進展の成果を基礎として、医薬品、食品成分、環境化学物質、毒物等の化学物質の生体作用を、遺伝情報の発現・制御(ゲノミクス)、タンパク質の機能発現・制御(プロテオミクス)、代謝物の変動の制御(メタボロミクス)、および化学物質の物理化学的性質の情報に基づいて議論することができる能力
- 安全性を考慮した医薬品の開発・研究・情報提供、生体障害因子から健康を衛るための研究・情報提供、医薬関連情報からエビデンスを引き出すための研究・情報提供、のいずれかができる能力
- 薬学の基礎科学的探究のみならず、先進の探求的研究を統合的に理解して、医療の進歩や種々要因のグローバルな変化が地域社会にどのような帰結をもたらすかを評価し議論できる能力

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

薬学研究科薬学専攻(博士課程)では、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力の醸成のために、以下のカリキュラムを設定しています。

- 先端生命科学特論、先端医療薬学特論、レギュラトリーサイエンス特論およびドライリサーチ特論を必修科目とし、医療薬学における高度な専門的な知識の修得および豊かな学識の涵養を図り、急速に進む国際化に対応した地域社会の維持・発展に寄与できる能力を養成します。
- 特論演習では、各領域それぞれが専門とする教育・研究を対象とした知識と技能を修得し、自立した研究能力を有するスペシャリストを目指します。
- 博士論文研究では、主研究指導教員との綿密な協議に基づいて策定された研究方針を、副研究指導教員も加えた定期的なディスカッションをとおして形成的評価を繰り返します。最終的に博士論文として完成させ、研究科委員会における総括的評価により、極めて高度な研究能力を有することを確認します。
- 論文作成法特論では、研究・生命倫理に係る事柄やその他各種レギュレーションに関する事柄を理解し、適切な論文作成に向けた知識・技能・態度を身につけます。

アドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)

薬学研究科薬学専攻(博士課程)では、城西大学の建学の精神と薬学研究科の教育研究上の目的を理解するとともに、本専攻のディプロマ・ポリシーに示す資質・能力の修得を目指す以下のような人の入学を期待します。

- 大学または社会で学んだ教養を深化させ、薬学の専門知識をさらに向上させ、個々人の主観的 QOL (quality of life:生活と人生の質)を高く維持することに活用しようとする強い意欲のある人
- 論理的・科学的な思考に基づいて物事の課題や問題点を考えること、先進の探求的研究に基づく知見を常に広く収集すること、医療倫理について深く考察すること、などに意欲的に取り組むことができる人
- 薬学専攻(博士課程)において研究を行うために必要な基礎学力とプレゼンテーション能力を有する人
入学前に学習しておくことが望ましい教科・科目:卒業研究、英語、有機化学、物理化学、生化学、生理学、栄養学、薬理学

入学者の受け入れは、以下の点に留意して実施します。

- 薬学専攻(博士課程)の教育研究上の目的に相応しい人材を面接試験により評価・審査します。
- 卒業研究などのこれまでの研究経験に関するプレゼンテーションにより、基本的研究能力とプレゼンテーション能力を評価・審査します。
- 薬学の研究をする上で必要な英語、有機化学、物理化学、生化学、生理学、栄養学、薬理学の理解度を評価・審査します。

2023 年度 大学院薬学研究科学生募集要項(一般)

1. 募集人員

専攻	博士前期課程		博士後期課程	博士課程
	薬科学専攻	医療栄養学専攻	薬科学専攻	薬学専攻
入学定員	32 名	20 名	3 名	6 名

※一次募集以降定員になり次第募集を終了します。

※各講座には受入人数に制限がありますので、出願前にお問い合わせください。

2. 募集研究分野・領域

(1)博士前期課程 薬科学専攻

分野	講座	研究内容	指導教員
基礎薬学	天然物化学	創薬を指向する天然薬物に関する研究	鈴木 龍一郎
	生物有機化学	天然有機化合物をシードとした誘導体合成及び生物活性における構造活性相関に関する研究	杉田 義昭 高尾 浩一
	生物薬品科学	プロリン含有ペプチドの上部消化管に対する影響 ピロリ菌除菌に有用な物質の探索	田中 享
化粧品機能	薬粧品動態制御学	未病と健康に寄与する医薬品・化粧品の機能評価と送達システムに関する研究	藤堂 浩明
	皮膚生理学	健康な皮膚の維持に向けた表皮内因子の解析、並びにスキンケア素材関連研究	高木 豊
食品栄養機能	機能性食品科学	機能性成分の生体機能に与える影響と機能性食品の安全性・効能評価に関する研究	古旗 賢二
	栄養生理学	脂質の栄養生理学的役割の解明と生活習慣病や加齢に伴う疾患の予防・治療効果の組織学的解析	片倉 賢紀
	医薬政策管理	質の高い医療、福祉、在宅・介護および健康サービスを提供するための効率的かつ戦略的な医薬政策管理運営手段について研究	沼尻 幸彦 于 洋

(2) 博士前期課程 医療栄養学専攻

分野	講座名	研究内容	指導教員
基礎系 医療栄養	食品機能学	食品・食品成分の生体機能修飾作用の解明と評価 疾病予防、治療補助効果を有する食品の設計と評価	真野 博
	分子栄養学	生活習慣病に予防・改善効果を有する食品成分の作用メカニズムに関する分子栄養学的研究	清水 純
	生体防御学	酸化ストレスに起因する疾病を予防・改善する食品と医薬品に関する研究 生体内の免疫能に影響を与える食品・食品成分の評価	神内 伸也
	食毒性学	治療補助効果のある食事設計構築と、機能性食品開発その の医薬品との相互作用における食毒性的評価研究	和田 政裕
臨床系 医療栄養	臨床栄養学	生活習慣病に対する各種栄養素の影響 メタボリック症候群の効果的な栄養治療の確立	清水 純
	病態解析学	筋骨格系疾患に及ぼす食品の効果に関する研究 運動選手の運動生理・バイオメカニクスに及ぼす食品の効果 に関する研究	内田 博之
政策系 医療栄養	予防栄養学	地域保健医療に関する地域格差に関する研究 各種病態に及ぼす食品の効果、影響に関する研究	内田 博之
	栄養教育学	個人ならびにその環境を考慮したテーラーメイドの栄養教 育方法に関する研究	和田 政裕
	薬物療法学	食品と医薬品の相互作用 栄養状態と医薬品の相互作用	須永 克佳

(3) 博士後期課程 薬科学専攻

分野	講座	研究内容	指導教員名
高度薬科学	薬粧品動態制御学	未病と健康に寄与する医薬品・化粧品の機能評価と送達システムに関する研究	藤堂 浩明
	皮膚生理学	健康な皮膚の維持に向けた表皮内因子の解析、並びにスキンケア素材関連研究	高木 豊
	天然物化学	創薬を指向する天然薬物に関する研究	鈴木 龍一郎
	栄養生理学	脂質の栄養生理学的役割の解明と生活習慣病や加齢に伴う疾患の予防・治療効果の組織学的解析	片倉 賢紀
	生物有機化学	天然有機化合物をシードとした誘導体合成及び生物活性における構造活性相関に関する研究	杉田 義昭 高尾 浩一
	生物薬品科学	プロリン含有ペプチドの上部消化管に対する影響 ピロリ菌除菌に有用な物質の探索	田中 享
	機能性食品科学	機能性成分の生体機能に与える影響と機能性食品の安全性・効能評価に関する研究	古旗 賢二
高度医療栄養学	生体防御学	酸化ストレスに起因する疾病を予防・改善する食品と医薬品に関する研究 生体内の免疫能に影響を与える食品・食品成分の評価	神内 伸也
	食品機能学	食品・食品成分の生体機能修飾作用の解明と評価 疾病予防、治療補助効果を有する食品の設計と評価	真野 博
	薬物療法学	食品と医薬品の相互作用 栄養状態と医薬品の相互作用	須永 克佳
	病態解析学	筋骨格系疾患に及ぼす食品の効果に関する研究 運動選手の運動生理・バイオメカニクスに及ぼす食品の効果に関する研究	内田 博之
	分子栄養学	生活習慣病に予防・改善効果を有する食品成分の作用メカニズムに関する分子栄養学的研究	清水 純
	食毒性学	食品成分とその有害作用(食毒性)の評価 食毒性を制御する食品構成や薬物療法の検討	和田 政裕
	栄養教育学	個人ならびにその環境を考慮したテーラーメイドの栄養教育方法に関する研究	和田 政裕
	予防栄養学	地域保健医療に関する地域格差に関する研究 各種病態に及ぼす食品の効果・影響に関する研究	内田 博之
	臨床栄養学	生活習慣病に対する各種栄養素の影響 メタボリック症候群の効果的な栄養治療の確立	清水 純

(4) 博士課程 薬学専攻

領域	講座	研究内容	指導教員名
薬探索	医薬品化学	薬物と標的タンパク質の分子間相互作用の解析と構造活性相関に関する研究	坂本 武史
	有機薬化学	糖鎖の生命現象解明のためのプローブや、創薬につながる機能性糖鎖誘導体の設計・合成及び生物評価	(募集なし)
	生薬学	天然薬用資源の機能性及び分子メカニズムに関する研究	北村 雅史
	薬品物理化学	物性理解に基づく分子マシン設計とドラッグデリバリーシステム開発	江川 祐哉
生体防御	衛生化学	健康障害因子(遺伝子変異、摂食食品成分の偏り、薬毒物)による疾病誘発の機構解析と防御	工藤 なをみ
	公衆衛生学	生体リズムが健康と疾病に及ぼす影響の解析およびリズム調節による疾病予防に関する研究	河合 洋
	生化学	皮膚における生体防御とレクチン-糖鎖分子間相互作用の機構解明とその臨床応用に関する研究	畑中 朋美
	薬品作用学	生活習慣病における脳機能障害メカニズムの解明と予防・改善に関する研究	岡崎 真理
薬剤・製剤学	製剤学	種々疾患の治療目的に合わせた薬物送達システムの開発に関する研究	上田 秀雄
	薬剤学	薬物の生体刺激応答活性化と標的指向性付与に基づく製剤開発に関する研究	関 俊暢
	病院薬剤学	患者への安全かつ適正な薬剤投与システムの開発	上田 秀雄
臨床生命科学	臨床薬理学	医薬品開発における薬物の有効性と安全性に関する薬理学的研究	木村 光利
	病原微生物学	細菌感染防御のための表層抗原の応用と新規抗菌物質の検索	畑中 朋美
	生体分析化学	新規生体成分の検出・同定と該当する生体成分の分析法開発と生理的機能の解析	古地 壯光
臨床治療学	生理学	生活習慣病の成因および病態の解明とその予防法や治療法の開発	大竹 一男
	薬剤作用解析学	薬剤作用を修飾する諸因子の解析および医薬情報のデータマイニング	大島 新司
	薬物治療学	治療薬開発に向けた精神疾患の病因・病態メカニズムの解明	宮本 嘉明
	栄養治療学	薬食同源に基づいた医薬品や栄養成分の物性評価ならびに生物活性評価における基礎的研究	井上 裕
	臨床病理学	経腸・経リンパ的送達を目指した新規核酸製剤の開発研究	渡辺 知恵
	薬局管理学	医療・介護の質向上に寄与するための臨床研究	岡崎 真理

3. 出願資格

(1) 博士前期課程 薬科学専攻・医療栄養学専攻

次のいずれかに該当する者。

- ①学校教育法第 83 条に定める大学(出身学部問わず)を卒業した者、または 2023 年 3 月卒業見込みの者。
- ②外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者。
- ③学校教育法施行規則第 155 条第 1 項の規定にもとづき文部科学省の指定した者。
- ④外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたものによる評価を受けたもの等)において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び当該年度に授与される見込みの者。
- ⑤その他本大学院において、学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

※④、⑤による志願者は、事前に出願資格審査が必要となります。本研究科所定の提出書類を締切日までに提出してください。

(2) 博士後期課程 薬科学専攻

次のいずれかに該当する者。

- ①修士の学位又は専門職学位を有する者
- ②外国において前号と同等以上と認められる課程を修了した者
- ③大学を卒業した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。
- ④本研究科にて、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。

※③④による志願者は、事前に出願資格審査が必要となります。本研究科所定の提出書類を締切日までに提出してください。

(3) 博士課程 薬学専攻

次のいずれかに該当する者。

- ①大学における修業年限 6 年の薬学、医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者
- ②外国において学校教育における 18 年の課程を修了した者(薬学、医学、歯学又は獣医学の課程)
- ③大学(薬学、医学、歯学又は獣医学を履修する課程に限る。)に 4 年以上在学した者であって、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認められる者。
- ④本研究科において、個別の入学資格審査により、大学の修業年限 6 年の薬学、医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

※③④による志願者は、事前に出願資格審査が必要となります。本研究科所定の提出書類を締切日までに提出してください。

4. 出願資格審査(上記 3 で出願資格審査が必要な場合)

(1) 提出書類

- ①出願資格審査申請書(所定用紙)
- ②卒業証明書、成績証明書、学位記または学位記に準ずる書類(いずれも原本必須)
- ③大学を卒業した者、修士の学位を有する者と同等以上の学力があることを示す免許、資格、経歴等に関する書類
- ④その他、本研究科が提出を求める書類(英語以外の外国語の書類は日本語訳を添付してください)

(2) 提出書類の締め切りと提出先

締切日 (一次) 2022 年 7 月 8 日(金)

(二次) 2023 年 2 月 3 日(金)

提出先 城西大学入試課 〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台 1-1

9:30~11:00 13:00~15:00 (窓口受付のみ、日曜祝日除く)

(3) 出願資格の個別審査

所定の書類により出願資格の有無について個別の資格審査を行います。ただし、必要に応じて書類の追加提出を求めることや面接を行うことがあります。

(4) 審査結果の通知

審査結果については申請者に通知します。

5. 出願期間及び選考日（博士前期課程・博士後期課程・博士課程）

	出願期間	選考日
第一次	2022年8月29日(月)～9月5日(月)	2022年9月10日(土)
第二次	2023年2月24日(金)～3月3日(金)	2023年3月9日(木)

※試験開始後 20 分以内に、試験室に入室した場合に限り受験を認めます。

6. 出願手続

(1) 入学検定料 35,000 円

(2) 出願書類

出願書類	博士前期課程	博士後期課程	博士課程	備考
志願票	○	○	○	本学所定用紙、写真貼付
調査書	○	○	○	本学所定用紙、出身大学・大学院にて作成、厳封
推薦書	○	○	○	希望する本学薬学研究科の指導教員が作成
卒業(見込)証明書	○	—	○	出身大学にて作成
修士課程修了(見込)証明書	—	○	※1	出身大学院にて作成 ※1 該当者要提出
成績証明書	○	○	○	出身大学、大学院にて作成
TOEIC 公式認定書、TOEIC (IP) スコアレポート	○ ※2	○ ※2	○ ※2	成績提出日より2年以内に実施した試験の成績のみ有効 ※2 外国語の得点として利用する場合のみ要提出
入学検定料振替払込受付証明書	○	○	○	本学指定振込用紙にて納入、志願票に貼付
修士論文、論文等要旨	—	○	—	修士論文(写)1部、修士論文要旨(写し可)1部
受験承諾書	※3	※3	※3	※3 官公庁、民間会社等に在職中の者は要提出

①志願票に志望する専攻名を記入してください。

②志望講座名は同一専攻から第1・第2・第3志望までを選んで志願票に記入してください。異なる専攻の講座を含めて記入することはできません。また、博士後期課程においては異なる分野の講座を含めて記入することはできません。

③出願する際には、第1志望の指導教員(講座主任)と予め協議して推薦を受けてください。

④第2・第3志望については、当該講座主任と予め協議して了解を得てください。

⑤**外国人留学生**は上記出願書類のほかに必要な提出書類があります。入試課で確認のうえ、留学生必要書類も併せて提出してください。

⑥入学試験を受ける際、または修学上特別の配慮を必要とする方は、本学の学習内容(実験・実習含む)や支援体制、施設設備などについて事前に協議が必要となるため、入学検定料を納入する前に入試課にご相談ください。

⑦出願書類に不備のあるものは受理できません。

(3) 出願書類の提出先

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1 城西大学入試課

※郵送の場合は書留郵便とし、封筒の表に「薬学研究科入学願書」と朱記のうえ、締切日必着で送付してください(外国人留学生は窓口受付のみ)。

受付時間 9:30～11:00 13:00～15:00 (日曜、祝日を除く)

7. 試験科目・時間割(一次・二次)

博士前期課程

	1 時限目 10:30～11:30	2 時限目 12:30～14:00	3 時限目 14:30～
	外国語 (40 点)	専門科目 (40 点・各科目 20 点)	面接 (20 点)
薬科学専攻	英 語(2問を選択) TOEIC 公式認定書、TOEIC (IP)スコアレポート提出者は、本研究科が設定する基準により換算し、外国語(英語)試験で選択した2問と TOEIC 得点のうち、の高い 2 つを判定に使用する。	2 科目選択 有機化学、物理化学、生化学、生理学、薬理学 ※医療経済学(政策分野の受験生のみ選択可)	卒業論文研究の説明、質問 ・研究発表(5分) 紙媒体を利用する。プロジェクターの利用不可。教員への資料配布は必要なし。 ・質疑応答(5分)
医療栄養学専攻	英 語(2問を選択) TOEIC 公式認定書、TOEIC (IP)スコアレポート提出者は、本研究科が設定する基準により換算し、外国語(英語)試験で選択した2問と TOEIC 得点のうち、の高い 2 つを判定に使用する。	2 科目選択 生化学、生理学、栄養学、薬理学、公衆衛生学、医療経済学、医療栄養学Ⅰ、医療栄養学Ⅱ	卒業論文研究の説明、質問 ・研究発表(5分) 紙媒体を利用する。プロジェクターの利用不可。教員への資料配布は必要なし。 ・質疑応答(5分)

博士後期課程

	1 時限目 10:30～11:30	2 時限目 12:30～14:00	3 時限目 14:30～
	外国語 (30 点)	専門教科 (40 点・各科目 20 点)	面接 (30 点)
高度薬科学分野	英 語(2問を選択) TOEIC 公式認定書、TOEIC (IP)スコアレポート提出者は、本研究科が設定する基準により換算し、外国語(英語)試験で選択した2問と TOEIC 得点のうち、の高い 2 つを判定に使用する。	2科目選択 有機化学、物理化学、生化学、生理学、薬理学	修士論文研究の説明、質問 ・研究発表(20 分) 紙媒体を利用する。プロジェクターの利用不可。教員への資料配布は必要なし。 ・質疑応答(10 分)
高度医療栄養学分野	英 語(2問を選択) TOEIC 公式認定書、TOEIC (IP)スコアレポート提出者は、本研究科が設定する基準により換算し、外国語(英語)試験で選択した2問と TOEIC 得点のうち、の高い 2 つを判定に使用する。	2科目選択 生化学、生理学、栄養学、薬理学、公衆衛生学、医療経済学、医療栄養学Ⅰ、医療栄養学Ⅱ	修士論文研究の説明、質問 ・研究発表(20 分) 紙媒体を利用する。プロジェクターの利用不可。教員への資料配布は必要なし。 ・質疑応答(10 分)

博士課程

	1 時限目 10:30～11:30	2 時限目 12:30～14:00	3 時限目 14:30～
	外国語 (30 点)	専門科目 (40 点・各科目 20 点)	面接 (30 点)
薬学専攻	英語(2問を選択) TOEIC 公式認定書、TOEIC (IP)スコアレポート提出者は、本研究科が設定する基準により換算し、外国語(英語)試験で選択した2問とTOEIC 得点のうち、の高い 2 つを判定に使用する。	2科目選択 有機化学、物理化学、生化学、生理学、栄養学、薬理学、公衆衛生学	卒業論文研究の説明、質問 ・研究発表(15分) 紙媒体を利用する。プロジェクトの利用不可。教員への資料配布は必要なし。 ・質疑応答(10分)

8. 合否通知発送日・入学手続締切日

(博士前期課程・博士後期課程・博士課程)

	合否通知発送日	入学手続締切日
第一次	2022年9月15日(木)	2022年11月10日(木)
第二次	2023年3月13日(月)	2023年3月16日(木)

- 合格者には合格通知書及び入学手続に関する書類を合否通知発送日に本人宛に速達郵便で発送します。また、研究科の選にもれた者にも、その旨を本人宛に通知します。
- 合格者は、入学手続締切日までに、保証人を定めて入学手続金の納入と所定の書類の提出が必要です。入学手続締切日までに手続きを履行しないときは入学の許可をしません。

9. 学 費

(博士前期課程・博士後期課程・博士課程)

(単位:円)

		初 年 度			2年次以降 (年額)
		入学手続時	後期分	合計(年額)	
学 費	入学金(入学申込金)	300,000		300,000	
	授 業 料	365,000	365,000	730,000	毎年同額を納入
	施設設備費	150,000		150,000	毎年同額を納入
	小 計	815,000	365,000	1,180,000	
諸 会 費	父母後援会費	15,000		15,000	
	共 済 費	9,000		9,000	毎年同額を納入
	小 計	24,000		24,000	
納 付 額		839,000	365,000	1,204,000	

※1 入学申込金は入学金に充当する。

※2 入学申込金は、本学卒業生は免除する。

※3 父母後援会費は、本学卒業生、留学生、社会人は免除する。

10. 入学辞退について

入学手続きを行った後に入学を辞退する場合は、本学所定の「入学辞退届」及び「入学許可書」を入試課に提出すること。郵送の場合は、「入学辞退届用宛名ラベル」を使用し、簡易書留で送付すること。

11. 学費の返還について

「入学辞退届」及び「入学許可書」を下記の締切日(必着)までに提出した者に対し、入学金以外の学費を返還する。

締 切 日	返 還 日
2023年3月31日(金) 16時	2023年4月10日(月)

12. その他

(1)提出書類等に虚偽の記載または申告などの事実があった場合は、入学許可を取り消します。

(2)入学等に関する問い合わせ先

城西大学 入試課 〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1

TEL 049-271-7711 (入試課)

2023 年度 大学院薬学研究科学生募集要項(秋季一般入学試験)

1. 募集人員

専攻	博士前期課程	博士後期課程	博士課程
	薬科学専攻	薬科学専攻	薬学専攻
入学定員	若干名	若干名	若干名

2. 募集研究分野・領域

一般入学試験募集要項と同様

3. 出願資格

(1) 博士前期課程 薬科学専攻

次のいずれかに該当する者。

- ①学校教育法第 83 条に定める大学(出身学部問わず)を卒業した者、または 2023 年 9 月卒業見込みの者。
 - ②外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者。
 - ③学校教育法施行規則第 155 条第 1 項の規定にもとづき文部科学省の指定した者。
 - ④外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたものによる評価を受けたもの等)において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び当該年度に授与される見込みの者。
 - ⑤その他本大学院において、学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。
- ※④、⑤による志願者は、事前に出願資格審査が必要となります。本研究科所定の提出書類を締切日までに提出してください。

(2) 博士後期課程 薬科学専攻

次のいずれかに該当する者。

- ①修士の学位又は専門職学位を有する者。
 - ②外国において前号と同等以上と認められる課程を修了した者。
 - ③大学を卒業した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。
 - ④本研究科にて、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。
- ※③④による志願者は、事前に出願資格審査が必要となります。本研究科所定の提出書類を締切日までに提出してください。

(3) 博士課程 薬学専攻

次のいずれかに該当する者。

- ①大学における修業年限 6 年の薬学、医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者。
 - ②外国において学校教育における 18 年の課程を修了した者。(薬学、医学、歯学又は獣医学の課程)
 - ③大学(薬学、医学、歯学又は獣医学を履修する課程に限る。)に 4 年以上在学した者であって、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認められる者。
 - ④本研究科において、個別の入学資格審査により、大学の修業年限 6 年の薬学、医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。
- ※③④による志願者は、事前に出願資格審査が必要となります。本研究科所定の提出書類を締切日までに提出してください。

4. 出願資格審査(上記 3 で出願資格審査が必要な場合)

(1) 提出書類

- ①出願資格審査申請書(所定用紙)
- ②卒業証明書、成績証明書、学位記または学位記に準ずる書類(いずれも原本必須)
- ③大学を卒業した者、修士の学位を有する者と同等以上の学力があることを示す免許、資格、経歴等に関する書類
- ④その他、本研究科が提出を求める書類(英語以外の外国語の書類は日本語訳を添付してください)

(2) 提出書類の締め切りと提出先

締切日 2023年3月10日(金)

提出先 城西大学入試課 〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1
9:30~11:00 13:00~15:00 (窓口受付のみ、日曜祝日除く)

(3) 出願資格の個別審査

所定の書類により出願資格の有無について個別の資格審査を行います。ただし、必要に応じて書類の追加提出を求めることや面接を行うことがあります。

(4) 審査結果の通知

審査結果については申請者に通知します。

5. 出願期間及び選考日 (博士前期課程・博士後期課程・博士課程)

出 願 期 間	選 考 日
2023年4月17日(月)~4月28日(金)	2023年5月13日(土)

※試験開始後20分以内に、試験室に入室した場合に限り受験を認めます。

6. 出願手続

一般入学試験募集要項と同様

7. 試験科目・時間割

一般入学試験募集要項と同様

8. 合否通知発送日・入学手続締切日

合否通知発送日	入学手続締切日
2023年5月18日(木)	2023年6月1日(木)

- (1) 合格者には合格通知書及び入学手続に関する書類を合否通知発送日に本人宛に速達郵便で発送します。また、研究科の選にもれた者にも、その旨を本人宛に通知します。
- (2) 合格者は、入学手続締切日までに、保証人を定めて入学手続金の納入と所定の書類の提出が必要です。入学手続締切日までに手続きを履行しないときは入学の許可をしません。

9. 学 費

一般入学試験募集要項と同様

10. 入学辞退について

一般入学試験募集要項と同様

11. 学費の返還について

「入学辞退届」及び「入学許可書」を下記の締切日(必着)までに提出した者に対し、入学金以外の学費を返還する。

締 切 日	返 還 日
2023年8月31日(木) 16時	2023年9月8日(金)

12. その他

(1) 提出書類等に虚偽の記載または申告などの事実があった場合は、入学許可を取り消します。

(2) 入学等に関する問い合わせ先

城西大学 入試課 〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1
TEL 049-271-7711 (入試課)